

(1) 検討の視点

世界に誇れる「まち」の実現

- 本市が目指す「世界に誇れる『まち』の実現」に資するような空間とする。

都心のにぎわいづくり

- 積極的なイベント開催や平和記念公園と広島城をつなぐ動線の強化などにより、都心の新たなにぎわい拠点を創出する。

中央公園全体の機能強化

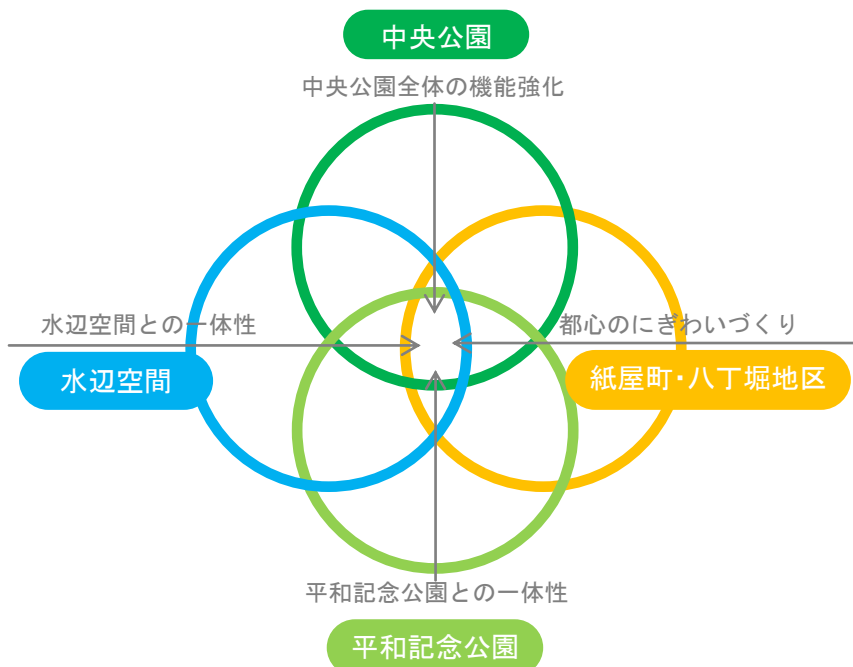
- 中央公園が持つ「にぎわい」「くつろぎ」「文化を醸し出す」の3つの空間特性が重なる場所に位置していることを踏まえた空間とする。
- 本市を代表する文化施設の集積を生かし、施設の集約化と機能の充実を図ることで、本市の文化発信力を強化する。
- 都心の緑豊かな空間の魅力をさらに高める。

平和記念公園との一体性

- 原爆死没者慰霊碑と原爆ドームを貫く軸線上の象徴的な眺望の確保など、平和都市広島を象徴する景観を大切にする。
- 軸線を考慮して施設配置を行うなど、平和記念公園と一体となった空間づくりを行う。

水辺空間との一体性

- 基町環境護岸との一体的な活用により、「水の都ひろしま」の象徴となるような空間とする。



(2) 目指すべき姿

市民が「世界に誇れる空間」

世界に誇れる「まち」広島を象徴する空間となるよう、誰もが訪れてみたいと感じる広島の「顔」となる空間とする。

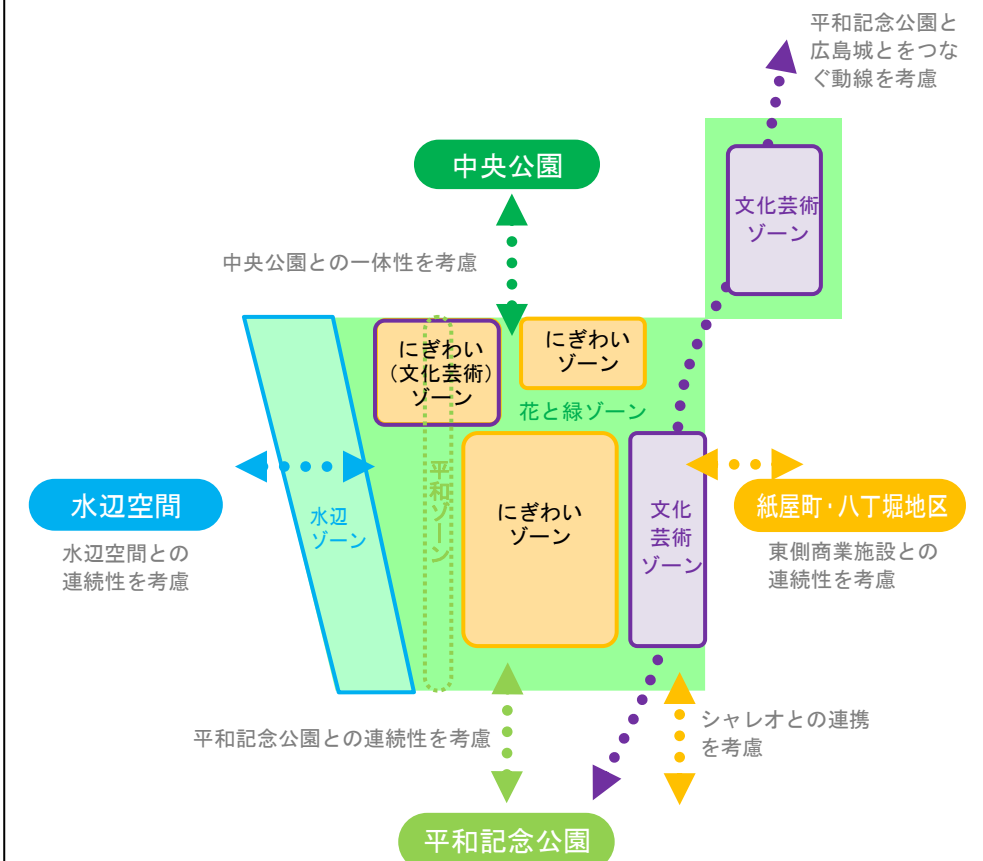
(3) 空間づくりの基本的な考え方

- にぎわい**
 - 多様な人々が交流できる空間
 - 都心の一大イベント・コンベンションゾーンとして、年間を通じて多様なイベントや会議を誘致・開催できる空間とする。
 - 都心の観光拠点の一つとして、平和記念公園を訪れる多くの観光客を引き付ける、にぎわいとおもてなしの心が感じられる空間とする。
 - 広島バスセンターや基町クレドなど東側の商業施設等との連絡性を高める。
 - 快適な歩行者空間の創出や分かりやすい案内サインの充実等により、中央公園及び周辺地域を含めた回遊性の向上を図る。
- 花と緑**
 - 花と緑にあふれる美しい空間
 - 平和記念公園や中央公園、基町環境護岸と一体となった緑豊かな空間とする。
 - 花と緑にあふれる美しい空間とし、市民や観光客にとって居心地の良い、くつろぎの場を提供する。
 - 洗練されたデザインによる美しく品のある都市景観を創出する。
- 平和**
 - 平和記念公園とのつながりを考慮した空間
 - 平和記念公園や世界遺産である原爆ドームとのつながりを意識し、世界遺産周辺の品格ある雰囲気にもふさわしい空間とする。
 - 原爆死没者慰霊碑から原爆ドームを見通したときの軸線を考慮した空間とする。
- 水辺**
 - 水辺空間とのつながりを考慮した空間
 - 原爆死没者慰霊碑から原爆ドームを見たときの背景となることから、西側民間施設について、所有者の意向を確認しつつ、移転に向けて協議を行い、移転が実現した場合には、水辺空間との一体的な空間をつくり出す。
 - 「水の都ひろしま」の新たな観光スポットになるような魅力的な水辺空間とする。
- 文化芸術**
 - 文化芸術を発信する空間
 - 市民の文化芸術活動や生涯学習活動、優れた文化芸術鑑賞の拠点となる空間とする。
 - 多様な文化イベントが開催できる空間とする。
 - 広島らしい文化芸術を国内外に発信する空間とする。

(4) ゾーニング

空間づくりの基本的な考え方を踏まえ、計画地の各エリアにおいて、「にぎわい」「花と緑」「平和」「水辺」「文化芸術」の5つのゾーンを設定する。

エリア名	ゾーン名	内容
緑地広場	にぎわい	様々なイベントの開催により、にぎわいを創出するゾーン
	花と緑	計画地全体を網羅するゾーン 花と緑にあふれ、憩いとくつろぎの場を提供するゾーン
	平和	南北の軸線を考慮するゾーン
水辺	水辺	「水の都ひろしま」の新たな観光スポットとなるゾーン
文化芸術	文化芸術	広島の文化芸術を振興・発信するとともに、平和記念公園と広島城をつなぐ動線の強化にも資するゾーン



※ 中央図書館敷地については、中央公園内の文化施設の再配置や平和記念公園と広島城をつなぐ動線の強化の観点から、計画地の文化芸術ゾーンと一体的に検討を行うこととする。